

C L T の普及促進について

【担当省庁】農林水産省、林野庁

C L T 普及に向けた製材施設の整備

- 京都府では、平成 30 年度の大断面集成材・C L T 加工施設の整備を計画中であり、C L T の原材料であるラミナの安定供給等に向けて平成 29 年度に実施する「森林・林業再生基盤づくり交付金」での製材施設整備を採択していただきたい。

< 京都府内の製材施設整備計画 >

ホリモク(株) (城陽市) : 帯鋸盤、木材乾燥機 おびのこばん ほか 3 企業

< 京都府の C L T 加工施設整備までのスケジュール >

平成 29 年度 : 製材施設整備の実施

大断面集成材・C L T 加工施設の整備計画策定

平成 30 ~ 31 年度 : 大断面集成材・C L T 加工施設整備の実施

平成 31 年度 : 京都府産 C L T の供給開始

＜林野庁の概算要求＞

◎ 森林・林業再生基盤づくり交付金 110 億円の内数（28 年度予算額 41 億円）

木材利用の拡大、木材の安定的・効率的な供給を図るため、木材加工流通施設、木造公共建築物、木質バイオマス関連施設の整備等を支援

【現状・課題等】

国では、林業の成長産業化を図るため、国産材の安定的・効率的な供給体制の構築や木材の加工・流通施設の整備を推進していくこととしており、平成 36 年度までには年間 50 万 m³程度の C L T 生産体制を構築することとしている。

京都府においても、平成 27 年 6 月に「成長型林業構想」を策定し、これに基づき、平成 30 年度中に大断面集成材・C L T 加工施設を一体で整備予定。さらに、今後、C L T の需要動向を見定めながら、C L T の大型加工施設整備も検討。

＜製品生産量＞※計画中的のもの

大断面集成材：7,200 m³/年（原木 20,000 m³/年 相当）

C L T ：3,600 m³/年（原木 10,000 m³/年 相当）

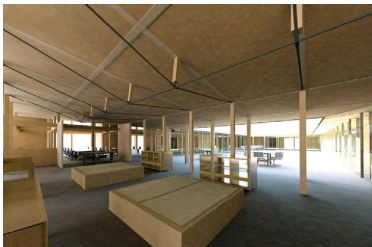
◎ これまでの C L T 活用事例
（京都府立茶業研究所）

茶業研究所の機能強化を目的としたリニューアル整備を平成 28 年度に実施中。C L T 部材の利用を条件とした設計を実施。



■ 建物概要

本館：府内産木材による木造（平屋）
950.91 m²（一部 C L T 使用）



製茶棟：府内産木材による木造（平屋）
668.44 m²



【京都府の担当課】

農林水産部 林務課 075-414-5009